



目次

- ①加茂紀和子研究室について
- ②活動紹介
  - 1. 加子母木匠塾、加子母小学校とのワークショップ
  - 2. 過去の活動をデジタル化
  - 3. その他の活動

①加茂紀和子研究室について

名古屋工業大学 加茂紀和子研究室



加茂研究室は、2016年に研究室として設立しました。指導員 加茂紀和子教授のもとで、今年度は16名の生徒が活動しています。

①加茂紀和子研究室について

◆ 加茂紀和子研究室について

建築の設計を志す学生が多い研究室です。



①加茂紀和子研究室について

◆ 加子母での活動のきっかけ

2021年度に、2020年まで加子母で活動を行っていた藤岡伸子研究室から活動を引継ぎました。

今年度は私が中心となり、加茂紀和子研究室として加子母での活動を行いました。

①加茂紀和子研究室について

◆ 昨年(2022年度)の活動

加子母小学校の小1、小4対象に「間伐」をテーマとしたワークショップを開催。

小学校に隣接する学校林「学びの森」が、児童の日常に学び・遊び場として持続的に活用されることを目的。



1. 加子母木匠塾、加子母小学校とのワークショップ
2. 過去の活動をデジタル化
3. その他の活動

加子母小学校の4年生を対象に  
加子母木匠塾とワークショップを開催しました。



◆ワークショップの背景・目的

加子母小学校の隣接地にある学校林「学びの森」が有効に活用されていない。



- ①児童たちが、日常の学び・遊び場として「学びの森」を**持続的に活用**していくことに繋げたい。
- ②木匠塾と加子母小のコネクションのきっかけを作り、個別に活動していた団体が「学びの森」を通して**連携**する。

◆ワークショップの背景・目的

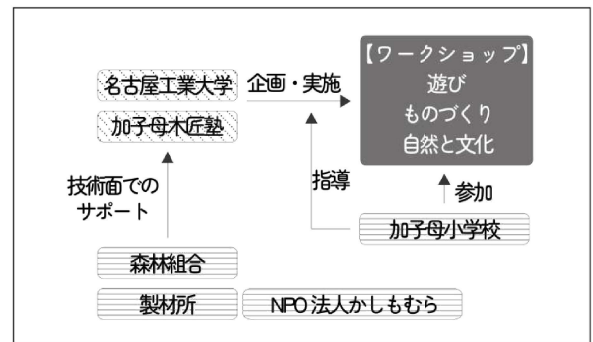
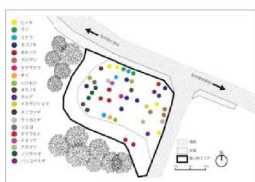


図1. 学びの森との関わり方イメージ

◆ワークショップの計画

木匠塾、加子母小、NPO 法人かしもむら、加子母森林組合の方々と相談しながらワークショップの内容を検討した。

「学びの森」にある**木々の樹種**について学び、樹木や森林への好奇心を育むワークショップを計画。



◆ワークショップ開催の流れ



ねまろが KAMO LABO ②活動紹介 1.木匠塾、加子母小とのワークショップ

◆ワークショップ開催の流れ

5月 6月 7月 8月 9月

木匠塾との顔合わせ  
企画スタート

森林組合への相談  
加子母小への打診

材料の調達  
樹種図鑑の制作

学びの森の整備  
WS リハーサル

WS 本番



木匠塾の学生と対面で顔合わせをする。  
学びの森を訪れ、ワークショップの企画の**案出し**をする。



「学びの森」には樹種の名前が書かれたプレートがあるが、劣化が進み、文字が読めなくなってる。  
そこで、小学生が**樹種に興味を持つ新たなコンテンツ**となる企画を提案する。

ねまろが KAMO LABO ②活動紹介 1.木匠塾、加子母小とのワークショップ

◆ワークショップ開催の流れ

5月 6月 7月 8月 9月

木匠塾との顔合わせ  
企画スタート

森林組合への相談  
加子母小への打診

材料の調達  
樹種図鑑の制作

学びの森の整備  
WS リハーサル

WS 本番



森林組合の方々にワークショップの内容を相談し、適切な材や、製材の手法についてアドバイスをもらう。



「学びの森」にある**樹種図鑑**を作成する。  
樹木の特徴をオリジナルイラストを用いて解説。

ねまろが KAMO LABO ②活動紹介 1.木匠塾、加子母小とのワークショップ

◆ワークショップ開催の流れ

5月 6月 7月 8月 9月

木匠塾との顔合わせ  
企画スタート

森林組合への相談  
加子母小への打診

材料の調達  
樹種図鑑の制作

学びの森の整備  
WS リハーサル

WS 本番



「学びの森」の里山林エリアが草木が生い茂っており、ワークショップを行なうには危険があったため**整備**を行なう。



ワークショップの流れを確認し、事前に考えられる改善点のブラッシュアップをする。

ねまろが KAMO LABO ②活動紹介 1.木匠塾、加子母小とのワークショップ

◆ワークショップ開催の流れ

5月 6月 7月 8月 9月

木匠塾との顔合わせ  
企画スタート

森林組合への相談  
加子母小への打診

材料の調達  
樹種図鑑の制作

学びの森の整備  
WS リハーサル

WS 本番



Day 1  
小学生との事前顔合わせ。モルックをして交流。



Day 2  
「学びの森」で樹木を知るワークショップを行なう。

ねまろが KAMO LABO ②活動紹介 1.木匠塾、加子母小とのワークショップ

◆ワークショップ Day 1 の流れ

①  自己紹介

②  資料配布

③  モルック ルール説明

④  モルック

ねまろが KAMO LABO ②活動紹介 1.木匠塾、加子母小とのワークショップ

◆ワークショップ Day 2 の流れ

①  この木、なんの木？

②  この木にとまれ！

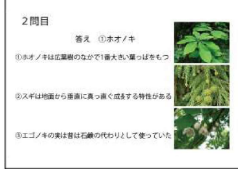
③  仲間を見つけよう！

④  き・つつき

◆ ワークショップ Day 2 の流れ

◇ 樹木クイズ「この木、なんの木？」

学びの森にある樹種についての3択クイズ。



◆ ワークショップ Day 2 の流れ

◇ 樹木クイズ「この木にとまれ！」

木の名前と特徴を聞いて、当てはまる木の下に集まる。



◆ ワークショップ Day 2 の流れ

◇ 樹木クイズ「仲間を見つけよう！」

学びの森にある木と同じ樹種の木のピースを見つける。



◆ ワークショップ Day 2 の流れ

◇ ゲーム「き・つつき」

ルーレットを回して、指定された樹種の木のピースをとる。



◆ ワークショップを終えて

ワークショップの準備をする中で、小学生に教えるために私たち大学生自身も樹木について多くを学びました。

またワークショップ中も小学生からの鋭い質問に、分からないこともありましたが、一緒に予想をしたり、考えたりするなかでとても充実した時間を過ごせました。

来年度も木匠塾や加子母小とワークショップを出来ればと考えております。

◆ ワークショップ後のヒアリング調査

加子母小の担任教師から来年もワークショップ開催を希望する声をいただいている。

加子母木匠塾は来年度実施する際に、大学生と小学生がより長期的な関わりを持ちながらワークショップを開きたいと構想している。

これまで名古屋工業大学が加子母で行なってきた活動や論文、制作物を紹介するホームページの作成を行いました。



図鑑やパンフレット



論文



◆ デジタル化することでのメリット

今まで紙媒体の制作物が大半を占めていたため、名古屋工業大学内での情報共有に限られていた。

しかし、デジタル化することで、加子母での活動を学内だけでなく社会に発信することができる。



HPのQRコード

それは、加子母の魅力をより多くの人が知るきっかけに繋がる。

◆ その他の活動

- ・ マス釣り体験イベント
- ・ 明治座見学
- ・ 加子母祭り
- ・ ランプの宿 見学

◆ マス釣り体験イベント



## ◆ 明治座 見学



## ◆ 加子母祭り



## ◆ ランプの宿 見学



## ◆ 域学連携事業の活動を通して

私自身、2年目となる加子母での活動で、**昨年の活動よりも、さらに幅広い分野の人々と関わりを持つことができた。**

まだ参加できていない毎年恒例のイベントもあるので積極的に参加していきたいです。

来年度は、私にとって学生としての最後の加子母の活動になります。これからも加子母に訪れ、様々な方々とコミュニケーションをとり、加子母と向き合っていきたいと思います。